

令和5年度 事業計画

当財団は、昭和25年12月20日、港湾管理者である呉市長を設立代表者に据え運輸大臣の許可を得て「財団法人呉海員ホーム」としてスタートし、呉市とともにこれまで72年の歴史を刻んできた。

平成8年春には、呉市が所有する施設との複合施設として「ビュー・ポートくれ」が建設され、呉市を始めとする関係者のご支援ご協力と、市民のご理解を得て、オープンから27年目を迎えようとしている。

1. 会館の運営方針について

(1) 全館的な取組

施設の老朽化が大きな課題となっているため、優先順位を付けて設備維持・補修改修を行う。また、物価上昇による費用の増加を考慮しつつ、宿泊料金値上げを始め、市場調査とコスト管理を徹底し、事業の維持継続を図る。

(2) 宿泊部門

収益の確保に向けて、行政機関等が実施する新型コロナウイルス対策支援策を積極的に取り入れるとともに、次の項目に取り組み、宿泊客の獲得を目指す。

- リピーターの積極拡大
- ホームページの充実によるネット予約の獲得拡大
- ツイッターによるPR
- 観光客、地元企業や海上自衛隊への販売強化
- 市内の競合宿泊施設の動向に対する機敏な対応
- 利用客のニーズの把握と積極対応

(3) 飲食部門

朝食レストラン営業については、「設備更新」「コスト管理」「人材確保」の観点から今後の営業を検討する。

(4) 貸会場部門

ホームページ等を活用した新規利用者の獲得とともに、地元企業や継続利用者への呼びかけを積極的に行い、利用者の回復を目指す。

(5) 生活相談事業

引き続き1階ロビーに「船員しんぶん」と船員会報「海員」を設置して、船員の広報活動を支援する。さらに、全日本海員組合と連携を図り、船員やその家族からの相談に応じる。また、訪船等により船員とコミュニケーションを図る。

(6) 受託事業

呉市から指定管理者として指名を受けている、呉市きんろうプラザの管理業務と共用部分の管理業務については、これまで同様、誠実に業務を遂行していく。

2. 職員関係について

(1) 職員の採用

職員補充等を引き続き検討し、適切な人員配置を図る。

(2) 職員の教育

接客サービスの向上のため、外部マナー講座への参加や、日常業務を通じた従業員教育を実施する。

(3) 職員の労働諸条件

職員の賃金改定は、労働意欲を維持する観点から、支払い能力を考慮しつつ、必要とする賃金改定を行う。

賞与の支給については、経営状況を踏まえ判断する。

3. 呉市からの借入金について

毎年290万円の返済計画に基づき、3、190万円にまで縮減してきたが、令和4年度は新型コロナウイルスの影響と物価上昇による支出増加を理由に返済の猶予を受けていた。令和5年度は、従来の返済計画に戻せるよう、経営収支の改善を目指す。

4. 施設の維持補修等について

これまで同様、会館運営に支障をきたさないよう、施設の点検を徹底し、計画的な維持補修を行う。また、劣化・消耗が進む設備機器については、可能な範囲で更新を行う。

(1) 海員会館設備の更新・改修

多額の支出を必要とする設備の更新・改修の主な内容は次のとおり。

①客室の改修

シングル5室・ツイン3室・和室7室

改修費用 約2,000万円

②吸収式冷温水機の更新（耐用年数30年）

まもなく耐用年数を迎えるため、近い将来、交換が必要となる。

現在はガス焚きの吸収式であるが、経費節減のため、電気式ヒートポンプ型を予定。

改修費用 約5,000万円

③客室エアコンの温度調節器

客室エアコンの温度調節器の新替え 残り16室分

（全45室中、平成30年度に14室新替え、令和4年度15室新替え）

改修費用 約1,300万円

客室エアコンの温度調節器は、部品が製造されなくなったため平成30年度に9階及び10階の洋室14室を新替えした。

令和4年度は、洋室15室を新替えし、令和5年度は残り16室を替える予定である。

①+②+③の合計改修費用 約8,300万円（税抜き）

燃料費高騰や部品確保が難しい場合、改修予算費用を上回る可能性がある。

施設の改修計画の検討にあたっては、海員会館の改修計画だけでなく、呉市きんろうプラザを含めた複合建物全体の運営の方向性を検討し、方針を決定する必要がある。

(2) 複合建物全体の更新・改修

呉市きんろうプラザを含めた複合建物全体の外壁等の更新・改修について、海員会館も相応の負担を行う必要があり、時期、負担額等の改修計画について呉市と連携しながら検討を行う。